

意見提出者	個人
-------	----

1. 項目	出会い系サイト規制
2. 既存の制度・規制等によってICT利活用が阻害されている事例・状況	<p>&lt;非出会い系&gt;児童被害の7サイトを健全認定 監視機構  <a href="http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20100819-00000010-mai-soci">http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20100819-00000010-mai-soci</a></p> <p>現在出会い系サイトおよび掲示板の取り締まり強化が呼びかけられているが出会い系の定義が恣意的に運用されるおそれがある。見知らぬ他人とコミュニケーションをとり、必要に応じてコンタクトをとることは今の世の中めずらしくなく、何でも全て出会い系と定義するかのごとくmixiやツイッター、ピクシブなどを出会い系として取り締まろうとする側の認識欠如が著しい。ツイッターに至っては、政治家や作家を含めて様々な人の利用が見込まれるツールであるがもし出会い系という指定を受ければ公的機関や政治家は少なくともツイッター利用から撤退しなければいけないだろう。実際に犯罪に繋がるような出会いとそうでない出会いの区別を今の警察に求めることは難しい。</p> <p>そして、第三者機関をして健全かどうかを判定するとのことであるがこれは事業者任せにすべきであり、第三者機関は恣意的運用の温床や新たな天下り期間に終わる結果を強く懸念する。</p>
3. ICT利活用を阻害する制度・規制等の根拠	—
4. ICT利活用を阻害する制度・規制等の見直しの方向性についての提案	<p>時期尚早。出会い系サイトという定義の厳密化、公権力による恣意的運用の防止。</p> <p>情報化社会を見据え、現実的ではない方策は少なくとも削除すべき。</p>